

文月頼り



7月も下旬 梅雨明けしスタートダッシュした夏の暑さは幾分和らぎ、また梅雨のような雨降りが続いた7月下旬。

さて、皆様7月25日何の日かご存じですか？「7(な)2(つ)5(じ)おひ」かき氷の日だそうです。ある調査によると、アイスクリームやシャーベットの消費額ランキングでは1位石川県 2位神奈川県 47位沖縄県「愛知県は15位」全国的にみると食べる方ではあるけれどもすごく多いわけでもない、名古屋の夏、ものすごく暑いのが...

今年は平年より広範囲で暑い夏になる見通しだそうです。名古屋の猛暑日、本当に厳しいです。熱中症対策に「コロナ対策、気力体力が消耗してしまいそんな夏ですが、おいしいものを食べ、しっかりと休み、体力をつけて共に乗り切りたいですね！

お知らせ



新型コロナウイルス感染者増加に伴い、にん内科外来でも連日問い合わせ等の電話が多くなっております。それに伴い、電話が非常につながりにくい状況になっておりますこと、ご不便おかけしており申し訳ございません。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

在宅におもっ



先日、在宅で出会ったご家族の方に、初めてのことで家ではどんな生活になるかわからず不安だったが、在宅でこんなことをしてくれるなんて知らなかった。そんなお言葉をいただきました。

介入してみても初めて知っていただけでもあると思います。逆を言えば、お家に帰ってくるにあたり事前に「家に帰っても心配ないな」と思えるような関わりができていなかった反省点でもあります。

「在宅」では病院とは違い、ナースコールのような速やかで看護師が駆け付けることは難しいですが、電話は24時間つながります。そして、家で困ることのないように、不安なく過ごしていただけるように、看護だけではなく、医師、相談員、理学療法士、ケアマネージャー、ヘルパーなど様々な専門家がチームとして必要なときに必要なサポートを総動員で行うことができます。よりイメージでき安心感をもって家で過ごしてもらえらるよう、在宅の場についてお伝えすること、発信していくことが私たちの責務の一つでもあると改めて感じました。在宅写真展も、近いうちに実現したいです。

ここで、私たちフローレンス看護師について。

私たちフローレンス看護師は、自分が訪問していなくても、訪問して関わっているように想像できるくらい情報を共有し相談することを大切にしています。それは、一人のスタッフの目だけではなく、いくつもの目と知識と発想力を組み合わせて、その方やご家族にとって最適な方法でサポートできるようにするためです。スタッフがお互いに尊重し助け合いながら行ったそのサポートで「頼んでよかったな」と思っていたら、私たちがにとっては**猛烈なエネルギー源**に代わります。

「ここは在宅。」「できる」「できない」ではなく、**やりたいことがわかる口癖になるように。**

「クスッと笑えるような」「ホッ」「癒されるような」「より良い時間を過ごしながら、みなさまに寄り添い、必要としてもらえるような看護チームでありたいと思います。」

もちろんチームとして強くなるためには、看護師だけではどうにもなりません。利用者さんの想いを一番に考え「今」のタイミングを逃さず感じ一緒に考え、医師に相談し、様々な職種にかけ合う、関わるチームが一丸となって力を注ぐ。そんな力強い在宅医療を提供できるように努力したいです。

退院されてからの限られた時間に関わらせていただいた利用者さま

優しく温かいお人柄で最期まで意思決定され生を全うされました。そのご本人とサポートされたご家族さまから、看護師として何を大切にしてきてこれからも大切にしていきたいか、私たちにできる役割、すべきことを改めて教えていただきました。ありがとうございました。